



耐久高等学校PTA会報

ほほえみ

編集発行：耐久高等学校PTA 発行責任者：竹中滋基 発行日：令和5年7月13日
耐久高等学校 <https://www.taikyū-h.wakayama-c.ed.jp/>



入学式



3年生クラスマッチ

No.60



充実した素晴らしい 青春時代を

PTAA会長 竹中 滋基

昨年に引き続き令和5年度PTAA会長を務めさせて頂きます竹中です。

広川町在住で、2年生の娘がお世話になっております。過去に評議員、副会長を経験させて頂きましたが、私自身、至らない点も有るかと思えます。本部役員の方や評議員の皆様と力を合わせPTA活動に取り組んでいきたいと思えますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度の総会はコロナの扱いも変わり、4年ぶりに対面で開催する事が出来ました。準備等に携わって頂いた先生方にはご苦勞をお掛けしましたが、意義のある総会が開催できたと思えます。有難うございました。又、本年度より役員、評議員を引き受けてくださった皆様にも感謝申し上げます。また学校の方もコロナ禍前の姿に戻そうと学校運営に新年度より取り組んでくれています。私たちPTAAも部会等を通じ学校の手助けができるよう取り組んでいきますので、評議員の皆様にはご苦勞をお掛けしますがどうぞよろしく願います。

先日行われたスポーツの大会の出来事を紹介させて頂きます。引退を控えたある生徒は、半年前にじん帯断裂の大怪我に見舞われました。悲しさに落ち込むチームの皆の前に気丈に振舞う彼女の姿

がありました。半年間互いに励まし合いリハビリにも耐え、何とか最終戦には出場出来ましたが、残り時間僅かのところで倒れ込み、タンカで運ばれる事態となりました。涙ながらに駆け寄るチームのみんな、悲しみを乗り越え最後まで試合をやり通した選手たち、健闘を称え合うその姿に涙なくしてはいられず、「青春ってすごく密なので」という昨年の夏の甲子園優勝校の監督の言葉を思い出しました。

ここまでの体験は中々ないかもしれませんが、多かれ少なかれ高校生活では何かグッと胸をつかまれる経験があるかと思えます。多感な年ごろでもあり、貴重な高校生活を送る子供たちに、充実した学校生活を送れるよう、素晴らしい青春時代を過ごせるよう、今後も私たちPTAAは学校との架橋となり活動を行っていきたく考えています。

またリモートやデジタル化社会の中、人と人の接点が薄くなりつつある時代ではありますが、PTA活動を通じ少しでも子供達と接する機会が増えてもらえれば幸いかと思います。

保護者の皆様、先生方、今後ともお互い丸となりこれからの子供達を見守っていきましょう。
本年度も御協力よろしくお願い致します。



思考力・判断力・表現力の 育成を目指して

学校長 戸川 しをり

保護者の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

早いもので、私が本校に着任して4ヶ月になりますが、様々な場面で、耐久高の良さを実感しています。校内のあらゆることから聞こえてくる「おはようございます」「こんにちは」「お願いします」の挨拶の声、黒板に向かい懸命に授業に取り組んでいる姿、音楽室から聞こえてくる歌声やリコーダーの音色、昼休憩樂しそうにクラスメイトとお弁当を食べている姿、放課後、お互いに協力しながら教室やトイレを掃除している姿、先輩後輩が共に汗を流しながら部活動に取り組んでいる姿など、どの場面も耐久生の素直で、真面目で、何事にも前向きに懸命に取り組むという良さが表れています。日々、生徒たちは耐久高校の校風「文を修め、武を練る」を実践してくれており、本当にたのしい限りです。

この3年間は、コロナ禍で様々な制約の中で、生徒たちは生活を送ってきました。5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校の教育活動もコロナ禍以前に戻しています。今後は、コロナ禍でできなかった仲間と共に協力しながら取り組む活動や地域の方々々と連携した活動を積極的に実施していきたいと考えております。保護者の皆様方にもご理解

のほどよろしく願います。

解のほどよろしく願います。

さて、文部科学省が示す教育課程の内容「学習指導要領」の前文には、次のようなことが記されています。「これからの学校には・・・(略)1人1人の生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」このような資質・能力を身につけるため耐久高校では、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業実践に取り組んでいます。更に、総合的な探究の時間や学校行事等の特別活動においては「将来自分がいかにあるべきか、いかに生きるべきか」を考えさせる取組を行っています。生徒たちが本校での学びや様々な活動を通して、成功や失敗を経験する中で、自分と向き合いながら自己肯定感を高め、将来にわたって学び続ける基盤となるものを身につけてもらいたいと考えています。

耐久高校は昨年創立170年を迎えました。これからも生徒たちにとって誇りと思える学び舎であり続けたいと思えます。今後とも、本校の教育活動へのご協力、ご支援をお願い申し上げます。

学年の指導・取り組みについて

1学年主任 兵衛和樹

「集団生活を通して社会性を身に付けてほしい。」

入学式での話の中でアフターコロナに触れました。生徒一人一人は現在、日々の学校生活や行事等の中で、クラスメイトと共に精いっぱい頑張りがら、充実した耐久高校生活を送っています。

4月の教科オリエンテーションや初期指導、遠足を通して「中学生から高校生へと大きく成長しました。高校生としての心構えや立ち居振る舞い、集団行動で学んだ挨拶や礼儀・マナー等、生徒はワンランク上の品格を意識して取り組んでいます。」

1学年は単純に「高校生活の3分の1」というだけでなく、高校3年間の充実や将来展望を左右する大事な期間であり、一人一人が自信と勇気を持ち、高い目標に果敢に挑むマインドを作る期間でもあります。「最初が肝心」という言葉の通り、1学年を「ずばら」に過ごしたら、残り2年間で立て直すことは極めて困難となります。

家庭学習「1学年+1時間」や小テスト・提出物等、日々の積み重ねは、大きな力を生み出します。努力した時間は倍返し、三倍返しとなって、自分の将来（進路）に跳ね返ってきます。自分の可能性を信じることも、耐久高校の可能性を信じ、「耐久高校で頑張つてよかったなあ」と誰もが言える日を心待ちにして、1学年の教員は生徒と共に頑張つていきます。

保護者からの一言

1年副学年長 中尾周太郎

高校生活が始まり早3ヶ月。気づけばもう少しで1学期が終わる時期になりました。中学校の時と違いクラスの大半が初めて出会う人で少し戸惑いもあったようですが、日々の勉強、学校行事、クラブ活動に励み、楽しく高校生活を送れているようにみえます。

初めて学ぶことも多く、自分の思い通りにいかないこともあると思いますが、高校生活で得る知識や人との繋がりが子供の将来の力になると思います。コロナ解禁初年度の今年、より多くの事にチャレンジして欲しいです。



安原 美有紀 (数学) 御前 彩 (国語) 岩崎 祐矢 (英語) 岩山 綾 (地歴・公民) 岸田 祐樹 (美術)

自ら学び、充実した学校生活を送る

2学年主任 湯田良英

高校生活がスタートしてから早いもので約1年が過ぎました。生徒達は、学校生活に慣れて、多少余裕が出てきたところです。

1年生は、「中学生から高校生にいかにか早く気持ちを切り替えることができるか」が目標でしたが、2年生は、「日々の学習やクラブ活動等に意欲的に取り組み、3年生になるまでには将来を見据えた具体的な進路を決定する」ということが大きな目標となってきます。

そのためには、自分が心に残る「何か」を持てるかどうかが大切で、それが今後の人生を左右することになります。それは、友人との出会いやクラブ活動での悔しさや喜び、学習の大変さや大切さ、さらには一冊の本との出会いなど、その「何か」は人によって異なります。

学校は、教職員やたくさんの仲間たちが集う生活の中で、自分を成長させることができる素晴らしい場所です。今年度の学年目標として「基礎学力の定着」「基本的な生活習慣の確立」「自ら学び、充実した学校生活を送る」を掲げています。これは、自分自身で考えて行動し、何事にも意欲的に取り組み、将来の人生に役立つ「何か」をみつけることを目標にしています。

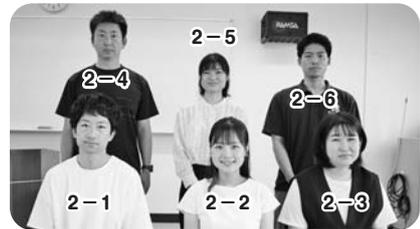
私たち教職員は、生徒一人一人の個性を生かし、進路実現に向けて一丸となって、よりよい学校づくりに取り組んでいきたいと考えていますので、保護者の皆様のご支援をお願いいたします。

保護者からの一言

2年副学年長 石井秀明

2年生となり、高校生活にも慣れ、家で楽しそうに学校、部活の話をしてくれる姿をみると、耐久高校に入學して良かったな、良き友に恵まれたなと思います。

あつと言期間の3年間で、いつか出来な事、たくさんあると思います。いつか悩んで、いつか失敗して、自分の進むべき道が見つかれば嬉しそうです。耐久高校での出会いを大切に、より充実した高校生活を送れるよう、先生方と一緒にサポートしていければと思います。



宮崎 智之 (保体) 山田 真依 (英語) 井畑 直樹 (理科) 岸山 裕之 (地歴・公民) 津村 沙樹 (家庭) 瀧川 智恵 (国語)

進路選択に責任を持つ

3学年主任 片山隆博

高校生活も残り1年を切りました。入学して最初のアセンブリーにおいて、高校生活には自分を成長させるチャンスがたくさんあることを伝えました。おかげさまで、生徒たちは学業や学校行事、クラブ活動等に懸命に取り組む中で、入学当初と比べ随分とたくましくなりました。その生徒たちが直面している大きな壁が「進路選択」です。生徒たちには、これまでことあるごとに、些細な選択にも責任を持つことの重要性を伝えてきました。人生は選択の連続です。その一つ一つの選択の結果として今の自分があります。夢や目標が定まらず、何となく目の前の選択をしてきたこれまでの違い、「進路選択」は自分自身と向き合い、葛藤しながら、自分の責任で進むべき道を模索することが欠かせません。このことから目を背け安易な選択をした結果として、こんなはずじゃなかったという後悔の言葉だけは聞きたくありません。悩み考え抜いて進んだ道において、うまくいかないこともあるでしょう。それでも、自分を偽らずこうありたいと願った進んだ道であるならば、必ず修正もでき、また、そこまでの努力がその先を生きる原動力にもなるはずですが、3年生にとって、今が正に自分と向き合い、これからの人生の方向性を決める大切な時期です。これまで以上に悩み、不安になったり葛藤したりすることもあります。しかし、決して一人で悩む必要はありません。学校には仲間がいます。私たち教職員も含めた3学年全員が一丸となり、一人一人の進路実現を果たすため、努力を惜しまず突き進んでいきます。

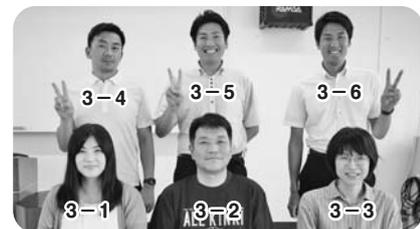
至らぬ点も多々あるかと思いますが、保護者の皆様には引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

保護者からの一言

3年副学年長 竹井聡美

昨年、耐久高校創立170周年を迎え祝砲を放つように、娘の所属する剣道部が女子団体41年ぶりにインターハイ出場！有言実行しました。コロナ感染症と闘いながらよく頑張ってくれました。これもひとえに先生方の支えがあったゆえに成し遂げられました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

3年生になり、コロナ感染症が5類に移行し、今までの窮屈な生活から、思いっきり高校生活を満喫してくれることでしょうか。耐久高校で学んだことを発揮し、3年生のみなさんが希望する道に進むことを応援します。



酒井 環 (地歴・公民) 後藤 真吾 (理科) 中村 知 (理科) 花本 麻冬 (国語) 角谷 芳史 (保体) 櫻井佳寿美 (英語)

高校総体壮行会

一学期中間考査最終日(5月18日)、県高校総合体育大会に出場する体育クラブの選手の壮行会が行われました。体育館での壮行会は4年ぶりです。選手全員がユニフォームに着替えて入場。司会は生徒会執行部が担当し、舞台上で各クラブ代表が意気込みや目標を話しました。中庭での壮行会(コロナ禍)は温かい雰囲気でしたが、体育館での壮行会は選手も生徒も温かい雰囲気の中にも緊張感がありました。教頭先生と生徒代表生徒会執行部松尾さんからの激励の言葉を受け、選手のみんなはキリッとした面持ちで大会に向けてがんばろうという気持ちで伝わってきました。3年生は最後の大会になる生徒も多いので、悔いのないよう、練習の成果を思い切り発揮して欲しいです。

生徒支援部長 石田智美



各クラブの大会入賞



陸上部



女子バレーボール部



女子ソフトテニス部



卓球部



バドミントン部



剣道部



囲碁・将棋部



軟式野球部



水上競技部



空手道部

台湾の高校生と交流

5月24日(水)午前中に、国立台湾師範大学附属高級中学の生徒35名と教員3名が修学旅行の一環で来校しました。歓迎会後、数名ずつのグループに分かれて、各授業に参加しました。昼休みは、本校生徒と共にグループに分かれてお弁当を食べました。予鈴が鳴っても名残惜しく、なかなかお互いに離れない生徒たちの様子は微笑ましい限りでした。13時には出発し、貴重な文化交流ができた半日となりました。





遠足

4月28日(金)、天候にも恵まれ、遠足へ行きました。1学年は、湯浅・広川町の散策、2学年は神戸市内、3学年は京都市内を散策しました。散策するだけでなく、学年によってはレクリエーションを行ったり、港を中心に古くから開けた町並みを見たり、文化遺産や大学等の施設を訪れました。

1年生



2年生



3年生



クラブ活動の記録 令和5年度1学期

【体育クラブ】

★陸上競技部

「和歌山県高等学校陸上競技対校選手権大会」
男子800m 第3位 小住渉太(3-4) (近畿大会出場)

★女子バレーボール部

「和歌山県高等学校総合体育大会 バレーボール競技の部」
ベスト8 堀江那歩(3-1) 柳原葉月(3-1) 長岡優伽(3-4)
川端和奏(2-1) 貴志沙桜(2-1) 大峯きあら(2-3)
中屋柚芭(1-2) 中 満帆(1-3) 藤内姫乃(1-4)
佐藤史織(1-5) (近畿大会出場)

★女子ソフトテニス部

「和歌山県高等学校総合体育大会(兼)和歌山県高等学校選手権大会」
女子団体戦 準優勝 最明希香(3-4) 神田夏希(3-3)
森川実桜(2-2) 山崎姫奈(2-2)
木下美晴(2-3) 武田莉穂(2-3)
中谷心咲(2-3) 堂浦理亜(1-3)
(近畿大会出場)

★卓球部

「第73回和歌山県高等学校総合体育大会 卓球競技の部」
男子ダブルス ベスト16 三枝悠斗(3-6)・田中悠晴(2-5)組
(近畿大会出場)

★バドミントン部

「令和5年度和歌山県高等学校総合体育大会 バドミントン競技の部」
男子団体 優勝 九鬼大空(3-5) 三家佳那為(3-5)
小副川裕斗(3-1) 樫原汎美(3-4)
岡田翔月(2-4) 信定樹輝(2-4)
小柳夏維(2-4) (インターハイ出場)
女子団体 準優勝 鈴木 絢(3-2) 湯川真帆(3-2)
松下真衣(2-1) 櫻本向日莉(2-1)
濱端裕奈(2-5) 石井彩矢(2-1)
宮崎心歩(1-1)
男子シングルス 優勝 岡田翔月(2-4) (インターハイ出場)
第3位 信定樹輝(2-4)
女子シングルス 優勝 鈴木 絢(3-2) (インターハイ出場)
第3位 松下真衣(2-1)
男子ダブルス 準優勝 岡田翔月(2-4)・信定樹輝(2-4)組
(インターハイ出場)
女子ダブルス 優勝 鈴木 絢(3-2)・松下真衣(2-1)組
(インターハイ出場)

★軟式野球部

「春季近畿地区高等学校軟式野球大会 県予選」
準優勝 (近畿大会出場)
「春季近畿地区高等学校軟式野球大会」
ベスト4
加藤 樹(3-6) 古瀬稜人(3-3) 野田煌輝(3-3)
江川 輝(3-5)

富上陽ノ介(2-2) 田口洸稀(2-3) 池永朔也(2-5)
守友 温(2-5) 山本颯哉(2-5)
上田那稀(1-1) 山下昊悦(1-1) 鈴木遥斗(1-2)
原見明希(1-2) 梅野真埜(1-3) 寺本空篤(1-4)
阿波怜志(1-5)
堀内彩花(3-2) 石井優和(3-3) 桑原加奈(3-3)
宮本佳怜(3-3) 一角真帆(2-6)

★剣道部

「令和5年度和歌山県高校総体 剣道競技の部」
男子団体 第3位 箕澤真広(3-6) 川口亮永(3-2)
中尾 仁(2-3) 小林栄斗(2-2)
岡崎泉飛(2-2) 竹尻達哉(2-3)
(近畿大会出場)
女子団体 準優勝 竹井愛美(3-5) 丸山幸姫(3-5)
榎本朱里(2-4) 新田羽菜(2-2)
嶋本光希(1-4) (近畿大会出場)
男子個人 第4位 箕澤真広(3-6) (近畿大会出場)
女子個人 第5位 竹井愛美(3-5) (近畿大会出場)
第5位 丸山幸姫(3-5) (近畿大会出場)

★水上競技部

「令和5年度和歌山県高等学校選手権水泳競技大会 競泳競技の部」
女子400m自由形 第1位 南村和愛(1-1)
「令和5年度和歌山県高等学校総合体育大会 水泳競技の部」
女子400m個人メドレー 第1位 南村和愛(1-1)
女子200m自由形 第7位 南村和愛(1-1)

★空手道部

「令和5年度和歌山県高等学校総合体育大会 空手道競技の部」
男子団体組手 第3位 山下裕大(2-6) 武輪 蓮(2-3)
橋中煌哉(2-6) 総田蒼空(2-6)
崎山 舜(2-2) 久保田朱玲(1-4)
嶋田成秀(1-4) 山根隆司朗(1-4)
女子団体組手 準優勝 豆塚亜依(3-1) 大浦美羽(3-4)
古川七瀬(3-5) 梶本千尋(3-5)
木地紗都樹(2-1) 尾藤和香菜(2-4)
畑中優芽(2-1) 森 美頼(2-5)
男子個人組手 第5位 山下裕大(2-6)
第5位 武輪 蓮(2-3)
女子個人組手 第5位 豆塚亜依(3-1)
男子個人形 第3位 永石一冴(2-6)
第3位 武内謙征(1-5)



【文化クラブ】

★囲碁・将棋部

「第47回全国高校囲碁選手権和歌山県大会」
男子団体戦 第3位 落合優斗(3-5) 久澄菊久音(2-3)
谷 拓人(2-6)

文武両道がんばれ!! 保護者からのエール Part 16

*柔道部 南 友樹(3-5)

高校では、運動部に入りたいと言って以前から柔道をやってみたくらいという思いから柔道部に入りました。

少人数で廃部が決定している部でもあり、入部を決めるのに迷いもありましたが、やってみたくて入部を決断しました。引退まで一勝したいと言って、日々練習に励みましたが、初心者で始めてなかなか経験者に勝つことは難しく、家で動画を観たりしてイメージトレーニングをしていました。それから2年生の大会で、相手に絶対負けなという強い気持ちで新人大会に臨みました。そして、ついに勝つことができました。コロナ禍でまさかの近畿ベスト8に入りました。結果を聞いた時は嬉しくて涙が出てきました。両立が心配だった勉強面でも日々目標を持ち、計画的に勉強することができました。部活動を通してメンタル面も鍛えられたと思います。これが社会人になった時に豊かな人間性を育んでくれることと思います。

*美術部 西谷新吾(3-4)



学生時代のクラブ活動は、その人の未来において何かのきっかけになり新しいことが始まる場合が多いと言えます。学生はできるだけ自分の興味関心の範囲を広げて自分にどのような可能性があるのかということに念頭に置き、クラブ活動をしてほしいですね。未来の職業にすぐに繋がらないものであってもクラブ活動で体験したことはどこかで別な形で表れてきて役に立つことがあるのです。その意味で学生時代のクラブ活動は大事であると思います。同時多発型の仕事に耐える力を持つための土台をつくるという意味において、クラブ活動は未来の人生の布石となるでしょう。



PTA & 学校の活動

月	日	曜日	事業名	場所	
4	6	木	会計監査	小会議室4	
	10	月	始業式、入学式	体育館	
	12	水	新旧本部役員会	応接室	
	25	火	第1回役員会	会議室	
5	9	火	3学年懇談会	体育館	
	12	金	定期総会・分野別セッション・学級懇談会・役員懇親会	体育館・HR教室	
	26	金	クラスマッチ 第1回総務部会	グラウンド・体育館 生徒ホール	
6	10	土	和歌山県高等学校PTA連合会定期総会	和歌山県民文化会館	
	16	金	第2回総務部会	生徒ホール	
	21	水	第1回本部役員会	応接室	
	28	水	教科書選定委員会	応接室	
	30	金	第3回総務部会	生徒ホール	
	7	1	土	近畿高P連滋賀大会	滋賀県草津市
5		水	第1回特別部会	生徒ホール	
7		金	芸術鑑賞会	有田市市民会館	
12		水	第1回進路部会	応接室	
13		木	PTA会報「ほほえみ」第60号発行		
18-20		火木	三者面談	HR教室	
8	24-25	木金	全国高P連宮城大会	宮城県仙台市	
	25	金	二学期始業式		
	30	水	第2回進路部会	応接室	
	9	6	水	第1回人権健全育成部会	生徒ホール
		12	火	本部役員②、各学年長・副学年長合同会議	生徒ホール
		21-22	木金	文化祭	
10			第2回特別部会		
			1学年懇談会	会議室・HR教室	
			2学年懇談会	会議室・HR教室	
	3	火	街頭指導・第2回人権健全育成部会	学校校内・校外	
	20	金	第4回総務部会	生徒ホール	
	25	水	第3回本部役員会 (県)高P連第3ブロック指導者研修会 人権教育地方別研修会(県教委)	応接室	
11	1-	水-	「きのくに学び月間」学校開放月間		
	2	木	情報セキュリティ講座 第2回役員会	会議室	
	17	金	第5回総務部会	生徒ホール	
	21	火	第3回特別部会	生徒ホール	
			PTA進路講演会		

令和5年度 PTA役員体制

PTA本部役員

◎学年長

学年組	役職名	氏名	専門部
2-1	会長	竹中 滋基	会長
3-2	副会長	岩倉 宏樹	進路部
3-4	副会長	◎樫原 淳奈	人権健全
3-1	副会長	佐原 弘記	総務部
2-1	副会長	◎石井 陽子	総務部
2-2	副会長	岡川 末美	人権健全
2-4	副会長	北山 美樹	進路部

学年組	役職名	氏名	専門部
1-1	副会長(新)	◎梅本 泰彦	進路部
1-5	副会長(新)	佐藤 祥多	人権健全
1-3	会計(新)	井口 容子	総務部
	会計	小嶋真理子	

学年組	役職名	氏名	専門部
3-5	会計監査	竹井 聡美	進路部
1-3	会計監査(新)	脇村 誠規	総務部

専門部別役員

◎部長 ○副部長

総務部	評 議 員		
	1 年	2 年	3 年
本部役員			
佐原 弘記	上野山瑞穂(4)	石井 秀明(5)	梅本 千恵(4)
石井 陽子	○片山 拓也(5)	川端 知佳(1)	榎本 章代(6)
井口 容子	久保田美穂(4)	木澤 ユミ(4)	九鬼 友美(5)
教 職 員	坂田 寛樹(4)	木下 雅美(3)	竹中けい子(1)
和田 操	千原 真澄(3)	城山 裕子(2)	森 智子(4)
	脇村 誠規(3)	谷 翔平(6)	
白井 敏之		出口 智子(3)	
		◎原井 正明(6)	
		守友 孝文(5)	

特別部	評 議 員		
	1 年	2 年	3 年
本部役員			
竹中 滋基	石井 希沙(5)	岩崎 悦男(1)	大崎 康弘(1)
岩倉 宏樹	○石川 雅也(1)	◎浦野 靖(5)	清水 恵美(2)
樫原 淳奈	仁井田真以子(1)	大山 友希(4)	高橋 聡子(3)
佐原 弘記	端 葵(5)	川合 一正(6)	則岡 美保(2)
石井 陽子	山田 尚紀(4)	濱端 華苗(5)	豆塚 知代(1)
岡川 末美			宮本 貴子(2)
北山 美樹			
梅本 泰彦			
佐藤 祥多			
井口 容子			
教 職 員			
石田 智美			
中南 典子			

進路部	評 議 員		
	1 年	2 年	3 年
本部役員			
岩倉 宏樹	久保田絵美(1)	妹春 環木(5)	上田 理絵(2)
北山 美樹	久保田知未(4)	越智 梓(2)	榎本久美子(1)
梅本 泰彦	桑山 有希(2)	◎片嶋 賀代(6)	最明 尚美(4)
教 職 員	小林 直子(3)	中井 弥子(5)	竹井 聡美(5)
辻本 恵介	○服部 真史(2)	中村 悦子(1)	花田美由紀(6)
		宗 加代子(5)	
兵衛 和樹			
片山 隆博			

人権健全育成部	評 議 員		
	1 年	2 年	3 年
本部役員			
樫原 淳奈	伊藤かおり(5)	浮野 利恵(1)	金丸かおり(4)
岡川 末美	中尾周太郎(3)	岡 展生(2)	桑原 秀代(3)
佐藤 祥多	○西田 朋子(5)	小林 義典(2)	諏訪 美紀(5)
教 職 員	早田 大輔(3)	◎永石 盛宏(6)	堀江あゆみ(1)
井原 正善		山本 吉宏(5)	丸山智奈美(5)
	湯田 良英		

令和5年度PTA総会

5月12日(金)

- 第1部 定期総会 体育館
- 第2部 分野別セッション(教務・進路・生徒支援)体育館
- 第3部 学級懇談会 各教室



PTA研修旅行

2月4日(土)

ダスキンミュージアム、エキスポシティ



PTA本部役員



クラスマッチ 5月26日(金)

5月26日(金) 晴天に恵まれ、4年ぶりに全校生徒でクラスマッチを行うことができました。今年度はテニスコートが整備されたこともあり、競技内容を変更して、グラウンドで男女混合キックベースボール、テニスコートで男子ドッジボールと女子ポートボール、体育館で男女混合ビーチバレーボールが行われました。

どの競技も白熱した試合が繰り広げられ、応援する生徒たちも大声で応援し、声をからしてしまった生徒もいました。各クラス、それぞれTシャツやビブスなどをそろえて着用し、競技の勝ち負けに関わらず、クラス一団結して笑顔で応援できたことが高校生活のよい思い出になったことと思います。

一生懸命みんなと共に取り組み、応援する生徒たちの姿を見て、すがすがしい気持ちになりました。今後も、生徒たち自身が、共に1つの目標に向けて取り組むことの大切さを知り、成し遂げた時の感動を経験できるような行事を実施したいと考えています。



3年生



2年生



1年生

